

# 中瀬 信之 県政レポート



【中瀬信之事務所】住所: 〒519-0416 三重県度会郡玉城町下田辺455 TEL・FAX 0596-58-2800

4月の統一選挙では、皆様の支持を賜り心より感謝を申し上げます。5月7日の初登庁より三重県議会議員として新たなスタートを切らせて頂きました。今までの経験を活かし三重県発展のためしっかり頑張っております。

今回の県政レポートは、令和元年度上半期版として県議会の構成や所属する県議会最大の会派(新政みえ)の考え方や議員活動の内容を皆様に報告をさせていただきます。

## 人口減少・高齢化問題と向き合う!!

特に三重県南部地域の人口減少や高齢化が加速度的に進んでいます。大都市(東京・大阪・名古屋)等に生活の基盤をつくり、地元に残り生活する若者は年々減少をしています。私たち親世代は思っています、地元で働くところが無いからしかたがない、生活をするには仕事のある場所に行かなければならない、しかし故郷が衰退するのは寂しいと思う多くの方がいるのではないのでしょうか。2040年問題の人口推計を見ると、私たちの住む地域は大きく人口が減少することが予想されています。この地域を何とか若者が住める地域にしたい、私たちの力で将来の人口減少に歯止めをかけ、地域の力になる事を考えなければなりません。



本会議場議席にて

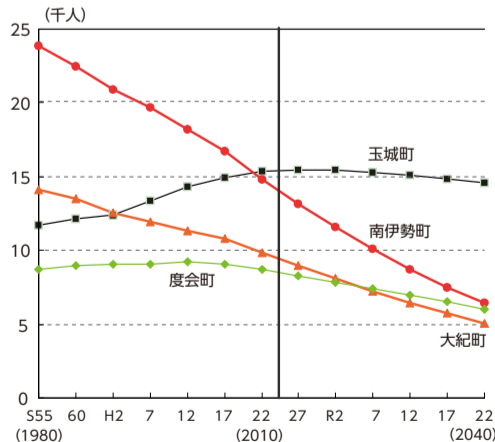
魅力ある地域が無ければ若い人は集まりませんし高齢者も元氣になりません。

持続可能な地元産業への応援対策や皆の望みである健康で長生きができる健康寿命の長い地域をつくり、故郷に愛着を持ち人情味あふれる豊かなまちを目指し精一杯地域発展のための知恵を出していきます。

## 三重県度会郡の状況

### 市町の国勢調査人口と将来推計人口による総人口の推移

	平成 22年 国勢調査	令和 22年 将来推計	増減数	増減率 (%)
三重県	1,854,724	1,507,656	-347,068	-18.7
玉城町	15,297	14,551	-746	-4.9
度会町	8,692	6,030	-2,662	-30.6
大紀町	9,846	5,078	-4,768	-48.4
南伊勢町	14,791	6,431	-8,360	-56.5



## 会派の状況

令和元年5月13日現在

任期満了に伴う三重県議会議員選挙の結果、会派結成の届けにより決定した、会派名及び会派別議員数です。私の所属する「新政みえ」は県下最大の会派であります。

会派	議員数
新政みえ	21人
自由民主党県議団	15人
草莽	6人
自民党	5人
公明党	2人
日本共産党	1人
草の根運動いが	1人

## 新しい発想で、新しい挑戦。 新政みえ



### 新政みえが考える6つのビジョン

- 1 南海トラフ大地震が想定される中での防災・減災対策の強化!
- 2 住みやすい環境を次世代へ!
- 3 人口減少社会における地域や経済の活性化!
- 4 農林水産業の強化!
- 5 健康といのちを守る!
- 6 子どもたちの豊かな未来のために!

## 令和元年度三重県議会の構成

県議会には6つの常任委員会があります。各議員はどこか1つの委員会に所属します。

私の所属する常任委員会は **総務地域連携常任委員会**

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。



委員会室にて

## その他の常任委員会

### ★戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

### ★環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

### ★医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

### ★防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業(病院事業を除く)の運営などについて審査・調査します。

### ★教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて審査・調査します。

### ■予算決算常任委員会 **全員参加**

予算、決算など県財政全般について審査・調査します。議長を除く議員全員が委員となっています。

### ■議会運営委員会

議会の運営に関する事項を中心に、議会関係の条例・会議規則等に関する事項、議長が諮問した事項などについて、審査・調査します。

### ■代表者会議 会派間の意見の調整や議会の行事に関することなどを協議します。

### ■議会改革推進会議

全議員が参加して地方分権の時代にふさわしい県議会の在り方を調査し、改革を目指す他の県議会との相互交流を図ります。

### ■広聴広報会議 県議会における効果的な広聴広報の取り組みについて協議・調整します。

### ■外国人労働者支援調査特別委員会 外国人労働者に係る支援について、調査します。

# 一般質問



## 食育の推進について

**質問** 食育を全ての人に進めることは重要な事である。特に子供たちに進めることは将来の健康に大きく関わると思う。県は第3次食育推進計画を作成し進めているが、各市町に於いては、まだまだ食育推進計画を作成し進んでいない。なにより重要な事は子どもたち(保育所・小学校・中学校)に食育を進めるための栄養教諭の数を増やし、個々の健康に対する考え方を教えることにより結果として将来の健康に対する知識が芽生え結果として医療費の低減に繋がると考える。

**答弁** 県民の皆さんが健全で充実した食生活を実現するための赤ちゃんからお年寄りまでの食育の取り組みや、みえの地物で、みんなで食卓を囲み食の安全・安心に関する正しい知識と判断力を養い、市町と連携し食育に対する取り組みを粘り強く支援する。学校に於ける現在の県下栄養教諭の数は125名である。食育を推進するためには栄養教諭の役割は大きいと考えている国に対し500名以下の生徒数に対し4校で1名の定数を2校に対し1名になるように国に要望している。

9月30日に本会議に於いて県政一般にかかわる質問を行いました。質問は知事・教育長・各部局長に対して行うものです。今回は4つの項目について一般質問を行いましたので報告致します。

## 三重とこわか国体

### 三重とこわか大会開催後の競技力強化策及び地域施設の活用について

**質問** 前回の三重国体開催後のレガシーとして成功事例の代表としてレスリング競技があげられる。選手強化をする為の定期的な指導者の育成と地域の取り組みが必要と考える。

**答弁** 前回大会のレガシーとして個々の競技種目は有るが、全体としての開催後の天皇杯成績は40位前後と低迷であった。今後の対策としてジュニアの育成や指導者の育成が必要と考えている。地域に根付いたレガシーをつくるため開催市町を支援する。

## 三重県農業の未来について

**質問** 地域に根差した小農(家族農業)への支援について、県は今後どのように取り組んでいくのか。

**答弁** 県は、儲かる農業の実現に向け専門的農業の育成(産業政策)と、地域を守り農村全体で生み出す価値の向上(地域政策)の両輪で施策を進める。特に知事3期目の課題として、持続可能な農業、儲かる農業の両方を進める。

## 豚コレラに関して

**質問** ワクチン接種に向け国は動き始めた、早期ワクチン接種に向けた県の体制はどうか、又野生猪の防疫対策は。

**答弁** 26年ぶりに発生した豚コレラ重大な被害が出ている、ワクチン接種に向け計画を進めている。生産者の不安や危機感を解消するため速やかにワクチン接種を進める。

豚コレラワクチン接種は11月3日に県内対象農場全てにおいて完了しました。

# 総務地域連携常任委員会 (県内外調査)

私たち、委員8名は行政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査を行う為に県内外調査を行いました。

## ● 県内調査【実施日:7月30日~31日】

◆県営ライフル射撃場では、三重とこわか国体に向けた施設整備状況や選手の育成等について◆伊賀市議会では、移住促進の取り組みについて「移住コンシェルジュ」を設置し、サポート体制を充実した移住促進の取り組みについて◆熊野市観光協会では、県内初のイベント民泊や観光振興について、◆県立熊野古道センターでは、熊野古道世界遺産登録15周年企画展示の状況や取組について◆県立尾鷲高等学校では、三重大学、地元市町と連携した「まちいく」の活動や、高校生による南部地域の魅力発信について、など各地での調査を行いました。



尾鷲高校にて

少子高齢化のなか地域が将来に向け元気であり続けるために多くの知恵を出し合って前進していきたい。

## ● 県外調査【実施日:8月20日~22日】

◆NPO法人 気張る!ふるさと丹後町(京都府京丹後市)では、人口減少や高齢化地域でタクシー事業者の撤退による交通空白地対策として、2016年5月に全国に先駆けて導入したウーバーアプリを活用したライドシェアの取り組みであるささえ合い交通の運行活動について◆京都府議会では、2017年に全国に先駆けRPAを導入に適した業務、課題などの検証や今後の取組について。先行して実施しているスマート自治体の取り組み調査と、移住促進として移住促進条例制定について◆福井県では、平成30年に「福井しあわせ元気国体・大会2018」が開催され天皇杯・皇后杯を獲得しました。三重県でも令和3年に開催される「三重とこわか国体・大会」を控え、開催県の取り組みとして競技力向上や開催後のレガシーを活かした取組について、など各地での調査を行いました。



福井県営陸上競技場にて

**注釈** 【ウーバー】とは配車サービス  
【ライドシェア】とは自動車の相乗り  
【RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション(英: robotic process automation, RPA))]とは事業プロセス自動化技術。人が行うパソコン操作等を自動で行う。

## 三重県議会議員勉強会に参加しました

三重県議会では、議員が共通する課題を共有し更なる理解の向上を目的とし、全議員が参加する勉強会を年に3回程度開催を予定しています。

### ● 第1回勉強会

6月26日に、慶応義塾大学大学院特任助教の高木 超氏を講師に「SDGsへの自治体の関わり方」についての講演をいただきました。

SDGsとは、世界が直面する多種多様な問題の解消と持続可能な社会の構築に向け、国連で採択された「持続可能な開発目標」のことです。

### ● 第2回勉強会

7月12日に、内閣府政策統括官の山本 和男氏を講師に「Society5.0と自治体について」の講演をいただきました。Society5.0とは、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿です。



## 第13回紀伊半島三県議会交流会議



7月26日に、奈良県橿原市において、三重県、奈良県、和歌山県の三県議会による、紀伊半島三県議会交流会議が開催されました。

会議では、「医師の確保に向けた取り組み」については、医師の地域偏在や診療科偏在は、三県の共通の課題である。将来にわたって地域医療を維持することができるように財政支援を国に対して要望していく。

「紀伊半島における道路ネットワークの整備促進」については、大規模災害発生時の救援や早期の復旧復興に欠くことのできない命の道である。幹線道路ネットワークの早期整備に向け三県が連携し国に対して要望していくことで両案とも合意されました。

## 住み良いまち 住みたくなるまちに

### 中瀬信之プロフィール

昭和30年 4月6日玉城町に生まれる  
昭和49年 松阪工業高等学校卒業  
昭和53年 法政大学卒業  
平成19年 JA全農グループ三重農協食品(株)退職  
平成19年 玉城町議会議員初当選  
平成21年 玉城町議会 教育民生常任委員会委員長  
平成23年 玉城町議会議員当選(2期)副議長  
平成25年 玉城町議会 監査委員  
平成27年 玉城町議会議員当選(3期)議長  
平成30年 玉城町長選出馬 次点  
平成31年 三重県議会議員初当選  
総務地域連携常任委員会委員  
(元)玉城中学校PTA会長

### 三重県議会議員

### 中瀬信之事務所

〒519-0416 三重県度会郡玉城町下田辺455  
TEL・FAX 0596-58-2800